

令和2年5月22日

保護者様

ひがしチャレンジ（校内一斉テスト）実施について

西海市立大島東小学校

校長 白水 聡

学力定着部

昨年度まで「校内一斉テスト」と言っていた取り組みを、『ひがしチャレンジ』と名前を変えて今年度も実施します。

「ひがしチャレンジ」の合言葉！

ひ・・・一人で
が・・・がんばって
し・・・しっかり成果を出す。

1. 目的は3つ！

- 「**自分から進んで行う学習**」を促す。
- 努力することの大切さに気付くとともに、**更なる継続への意欲を高める**。
- 主に「漢字の書き取り」「算数の基本的な問題」に取り組ませることで、**基礎学力の向上**を図る。

2. 学校で見られる児童の実態！

- 指示を受けると素直に取り組むが、自ら考えて取り組む児童は少ない。
- 学習に対して、「もう少し」「もっと」という思いをもって取り組む児童が少ない。
- ここ数年、学力は少しずつ伸びてはきているが、さらなる基礎的・基本的な知識・技能の定着が必要な児童が多い。

3. 実態を改善するために3つのことを取り組みます！

☆出題範囲を子供にも保護者にも知らせます！

決まった範囲、学習することが分かっているので、満点目指して粘り強く頑張ることができるはずである。

☆やり直しを促し、自己申告制の再テストを認めます！本番テストと再テストの良い方の成績で賞状カードにシールを貼ります！

努力の成果が出ると、自信や意欲につながるはずである。

☆「次はどうか。」自分を分析します！

賞状カードに、次は何をどうするか、自分で考え書き込ませます。
そうすることで、自己決定力と向上心が高まるはずである。



4. 年4回行います！

・6月初旬 ・9月上旬 ・12月上旬 ・2月下旬

5. 「けテぶれ」でやってみよう！

※兵庫県の葛原祥太先生が提唱している言葉です。

け・・・①計画
テ・・・②テスト
ぶ・・・③分析
れ・・・④練習



①ひがしチャレンジに向けて、「いつ、何を、どのくらい」勉強するのか、自分で計画を立て、具体的な行動や練習回数などを決めます。計画を立てたら、自学ノートなどに書きます。

※大人で言えば、スケジュール管理。

②自分でテストをして、「できるところ」と「できないところ」を確認します。

「**できないところ**」に気付くことが大切です。

※大人で言えば、仕事や作業の課題や問題点を発見すること。

③なぜ間違ったのか、勉強の仕方はこれでいいのか変えた方がいいのか、**分析**します。

※大人で言えば、仕事や作業の「カイゼン」を考えること。

④分析を生かして、「できないところ」を**できるまで練習**します。

この学習方法は、大人になっても使えます！ **世の中を生きぬいていくために必要なスキル**と言えます。

普段の自学でも同じように取り組むように、高学年では勧めています。

6. 保護者の方の協力が必要です！

○お子さんが意欲をもって学習できるように、結果でなく**努力する姿に励ましやほめ言葉**を掛けてください。

○賞状カードに、『次のひがしチャレンジに向けて、何をどのように頑張るか。』具体的な行動を、お子さんに決めさせて書かせてください。

○賞状カードに**保護者確認の印**を押して、返却してください。



家庭と学校と一緒に、子供の自立と学力向上を後押ししましょう！